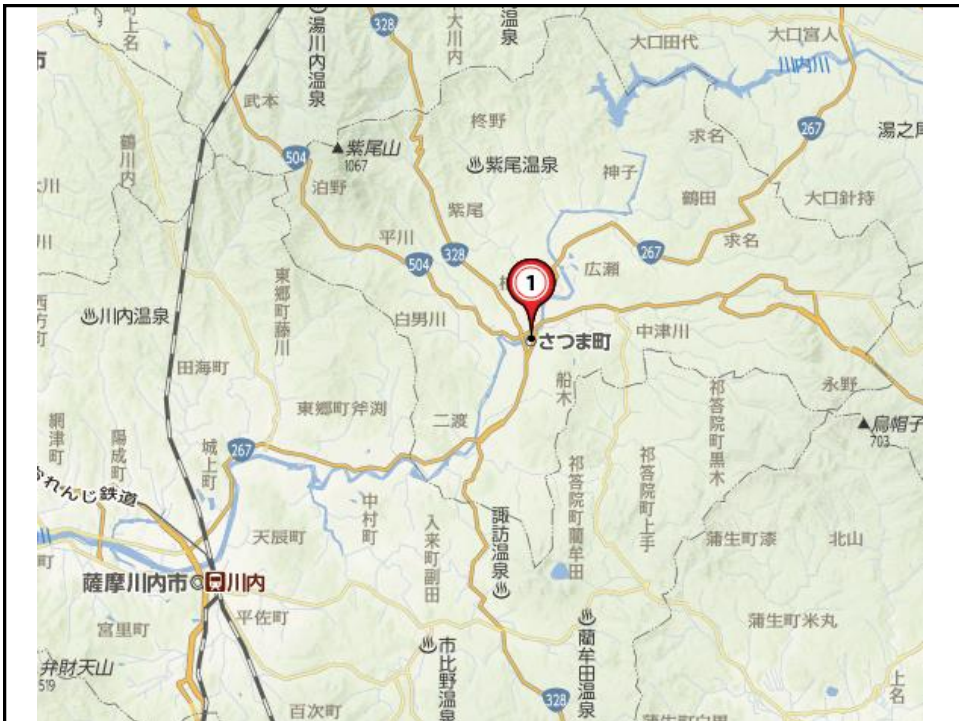


薩摩郡医師会 在宅医療推進事業

H26年3月20日(木)
薩摩郡医師会 在宅医療推進支援室
小丸 みさち



薩摩郡医師会管内の状況 (将来人口推計)

	現在				2025年			
	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H22比
さつま町	27,331	25,688	24,109	22,434	20,831	19,315	17,934	-25.6%
樋脇	7,951	7,699	7,277	6,878	6,455	5,988	5,520	
入来	6,454	5,930	5,455	5,079	4,693	4,302	3,878	
東郷	5,978	6,015	5,572	5,150	4,736	4,335	3,980	
祁答院	4,625	4,414	4,151	3,928	3,695	3,485	3,270	
市街小計	25,008	24,058	22,455	21,035	19,579	18,110	16,648	-25.7%
本土内計	52,339	49,746	46,564	43,469	40,410	37,425	34,582	
甑島	7,219	6,236	5,502	4,845	4,243	3,776	3,358	
合計	59,558	55,982	52,066	48,314	44,653	41,201	37,940	-27.1%

さつま町：H22までは国勢調査，H27以降は国立社会保障・人口問題研究所推計
薩摩川内市：薩摩川内市エリア別将来人口推計に関する調査（H21年3月）を元に算出

薩摩郡医師会病院



薩摩郡医師会管内の関係機関数

種類	数
病院	6
診療所	30
歯科医院	19
調剤薬局	21
訪問看護ステーション	2

5 医師会が取り組む事業 (3つの柱)

①在宅医療における多職種連携の推進

②在宅医療に係る人材育成

③地域住民への普及啓発

平成25年度

①在宅医療における多職種連携の推進

事業を推進する会の設置

会名	構成 人数	日程
事業運営委員会	8名	3回
在宅医療連絡協議会	23名	2回
在宅医療推進チーム	43名	3回

※第1回在宅医療連絡協議会、推進チーム合同会議の様子(H26.1/14)



**薩摩郡医師会管内の
現状と課題**

現状と課題の把握方法

- 会議での意見交換
- 医師へのアンケート調査
- 在宅医療関係機関へのニーズ調査

1/14 第1回薩摩郡医師会合同会議内容 〈意見交換〉

①薩摩郡医師会管内住民の望ましい終末のあり方について

- ・本人様は最後まで自宅で過ごしたい。家族は難しいという思いがある。
- ・介護サービスと看取りは違う。看取りは怖いものがあると思う方もおられるので、その部分を解決する必要がある。
- ・終末は怖い、夜は診れないと言われると心配
- ・経済的問題が大きい
- ・当番医と専門病院との連携が必要
- ・看取りに関して独居高齢者は、孤独死でもいいから自宅で暮らしたいと言う人もいる。逆に遠方の家族は心配だから施設に入ってもらいたいと意見のくい違いがある。

②今回の事業に対する薩摩郡医師会の役割(望む事)

- ・さつま町では、しっかりかかりつけ医が決まっているのではないか、急変時の連絡もだいたい結びついているので、もっと強化する必要があるのではないか。
- ・在宅医療を進めていくには、家族の経済的支援の問題がある。
- ・医師会病院が急変時の対応をしっかりしてくれる事が大事。
- ・簡単な怪我の手当てなどの方法について、研修会を行う必要がある。
- ・連携を上手に行い現状維持に努力する。

ニーズ調査結果による地域の課題と対策

目標	課題	対策
①在宅医師の確保	1) 郡部においても在宅医療における24時間往診や医療依存度の高い方の緊急入院の受入施設の整備が必要 2) 在宅サービスの充実と医療依存度の高い利用者の受入れ 3) 在宅医療従事者の医師確保困難 4) ターミナルケア患者の受け入れ困難	1) 医師会の医師の情報共有、往診可能な在宅医の状況確認 2) 在宅協力医ネットワークを構築し留守の医師の代わりをする 3) 病院での受け入れ体制の一覧を提示 4) レスパイト入院先の確保
②訪問看護・訪問介護の確保	1) 在宅医療における24時間の訪問看護や介護を提供できる体制	1) 潜在看護師の掘り起し、人材確保の為に予算確保 2) 看護人材バンク等の登録を作り、人材情報が得られるようにする 3) 訪問看護ステーションの増設
③関係機関の連携促進	1) 在宅と病院、介護と医療が繋がり、夜間や休日などの不安を軽減できるようにしたい 2) 緊急入院を必要とする患者の受け入れ体制を整えるためには、地域の入院施設を有する医療機関が、どのような患者であれば受け入れが可能であるかのリアルタイムな空床情報が確認できるシステムの構築	1) 顔の見える関係づくり 2) 多職種毎の役割、情報共有 3) カンファレンスや連絡会に参加する 4) 関係機関がアクセスできる共有のシステム作り 5) カルテ・情報用式の(入・退院)の一本化

目標	課題	対策
④住民意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 1) 患者本人も自己責任が持てる様に日頃から薬手帳や健康手帳などに伝えたい事や必要な項目を記入するなど医療と介護の連携についての意識づけ 2) 知識を深める事によりの確なサービス利用が受けられるよう指導し、無駄のないサービスに繋げる 3) 地域で「若い」を理解し「自宅で最期を迎える」事に関する協力を得る 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 自宅での看取りの事例のシンポジウムを開催する 2) 広報誌の発行 3) 事例を通じた多職種のカンファレンスを行う 4) 介護保険をもっとうまく使えるように指導する 5) コミュニティーで各機関の特徴ある講演会や説明会をする
⑤相談支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 1) 一人暮らしの方の緊急時の通報手段 2) 地域資源の啓発、掘り起し開拓 3) 高齢の独居者が多く、近隣とのつながりがどこまでできているか、どのようなネットワークを構築するべきか 4) 民生委員、自治会長、近所の方の連絡のラインが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 集落での支え合いのしくみ作り(支え合いマップ) 2) 見守り隊の充実(新聞・牛乳配達) 3) 地域づくりへの医師会の参加 4) 地域(本人・家族・民生委員)から地域包括支援センターに相談、関係機関につながるシステム作り
⑥専門職の技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> 1) ケアマネもある程度看護知識があればいい 2) 病院の看護スタッフの在宅看護に対する知識不足 3) 在宅医療についてしっかり勉強する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 事例を通じた多職種のカンファレンスを行う 2) 専門施設でのスタッフの研修 3) 病院と在宅の交流研修 4) 在宅医療推進会議を(H28年度以降も)継続して行う。

②在宅医療に係る人材育成

在宅医療推進のための多職種研修会

【第1回】

日時:平成25年12月7日(土)13:00~15:30

会場:ひまわり館

講演:「在宅医療と地域包括ケアシステム」

垂水市立医療センター 垂水中央病院

池田 忠 先生

参加者数:84名

【第2回】

日時:平成26年2月26日(水)17:30~18:30

会場:薩摩郡医師会病院

講演:「地域の在宅医療について考える」

~限られた資源のなかでどのように

地域を支えていけばよいか~

肝属郡医師会立病院

地域連携室長

坂上 陽一 先生

参加者数:83名

17

平成25年度薩摩郡医師会在宅医療推進事業

在宅医療推進のための多職種研修会

第1回;平成25年12月7日の様子





平成26年度上半期の活動計画

1. 在宅医師の確保

目 標 1) 訪問診療を行う医師の負担軽減

2) 後方支援のベッドの確保(具体的に)

行動計画 ① 訪問診療を行っている医師の実態を知る

② 週末、夜間の不在時の状況(連絡体制)を知る

③ ベッド空き状況の情報収集(診療所レベルまで)

2. 訪問看護・訪問介護の確保

目 標 1) 24時間の訪問看護や介護を提供できる体制

行動計画 ① 訪問看護ステーションの訪問地域や連携上の問題
点を知る

3. 関係機関の連携促進

目 標 1) 各施設の受入可能な患者の条件(疾患、看
取りなど)を明確にする

行動計画 ① 各施設の受入状況を把握する

② 施設での看取りの状況、苦勞している事(主治医
との連携の問題など)

③ ショートステイ利用の情報収集

4. 住民意識の向上

目 標 1)在宅医療や看取りについて知識を深める

活動計画 ①民生委員の集まりや各地域毎の集まりで在宅

医療や在宅での看取りについて説明を行う。

②デイサービス利用時または老人会等の集まりで、在宅医療や介護保険の利用方法等の出前講座を行う

5. 専門職の技術の向上

目 標 1)それぞれの専門職の役割や在宅における処置などについて知識を深める

活動計画 ①デイサービスで簡単にできる機能訓練

②在宅での看取りの事例報告の研修会を開催する

③多職種研修会の開催

* 出来る事、できる所から始めていく

* 資源マップつくりにつなげていく

課題は山積みですが……………

目指すのは…

管内の地域で、医療・介護・福祉・行政の関係者が連携して、そこに暮らす住民が在宅、入院、入所のどの形であろうと安心して自分たちの終末を迎えられる基盤づくり

